

第5回 東京理科大学 医学研究シンポジウム 「理科大で医学研究やっています！」を開催

日時：2019年5月11日(土)

薬学研究科	樋上 賀一	「腹八分で寿命延伸～脂肪組織代謝改善を介した健康寿命延伸に向けて～」
生命科学研究科	上羽 悟史	「マウスから知るがん免疫の仕組みと新たながん免疫治療」
理工学研究科	中村 由和	「細胞膜脂質の異常と疾患との関連 ー皮膚疾患を中心にー」
生命医科学研究所	高松 利寛	「医理工連携の医療機器開発プロジェクト～人の技を超えた能力で医療をアシスト～」
基礎工学研究科	宮本 信一	「環境で決まる動物の性」
生命科学研究科	水田 龍信	「血液中DNAの生化学と臨床応用の可能性」
薬学研究科	山下 親正	「新しい概念に基づいた中枢デリバリー技術の開発～ペプチドを鼻から脳へデリバリーさせる～」

当日は、教員と学生合わせて68名が参加し、理科大でも医学研究が行われていることを未経験の方でも理解できるような形で発表が行われました。また、医理工連携についての説明も行われ、研究科の枠を超えた学術的交流となりました。

